

平成 30 年 度 栽 培 管 理 表

管理番号 1

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住 所	熊本県上益城郡	住 所	熊本県上益城郡惣領1958	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	蛇の尾	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	紅はるか			定植日	2018年 4月 10日	特別栽培
栽培面積	50 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 9月 上旬 10月 上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 4月 上旬 ~ 10月 上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 9月 上旬 ~ 11月 下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	10月下旬	出荷期間	2018年 9月 上旬 ~ 11月 下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 3月 下旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 3月 28日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 3月 下旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 3月 28日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 3月 下旬	油粕	10 kg	〃	2018年 3月 28日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 3月 下旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 3月 28日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 25日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 10日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	3 回
				当作肥料計画	5 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。

平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 2

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榊幸里 生産管理部
住所	熊本県上益城郡	住所	熊本県上益城郡惣領1958	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	中原①	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	高系14号			定植日	2018年 4月 14日	特別栽培
栽培面積	35 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 9月 上旬 10月 上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 9月 上旬 ~ 10月 上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 9月 上旬 ~ 11月 下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	9月下旬	出荷期間	2018年 9月 上旬 ~ 11月 下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 3月 下旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 4月 1日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 3月 下旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 4月 1日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 3月 下旬	油粕	10 kg	〃	2018年 4月 1日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 3月 下旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 4月 1日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 27日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 23日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	3 回
				当作肥料計画	5 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。

平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 3

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県上益城郡	住所	熊本県上益城郡惣領1958	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	中原②	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	高系14号			定植日	2018年 4月 14日	特別栽培
栽培面積	40 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 9月 上旬 10月 上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 4月 上旬 ~ 10月 上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 9月 上旬 ~ 9月 下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	9月下旬	出荷期間	2018年 10月 上旬 ~ 11月 下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 3月 下旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 4月 5日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 3月 下旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 4月 5日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 3月 下旬	油粕	10 kg	〃	2018年 4月 5日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 3月 下旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 4月 5日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 26日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 21日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	3 回
				当作肥料計画	5 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。

平成 30 年度 栽培管理表

管理番号

4

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県上益城郡	住所	熊本県上益城郡惣領1958	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	北池久保	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	紅はるか			定植日	2018年 4月 16日	特別栽培
栽培面積	80 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 9月 月上旬 9月 月上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 4月 月上旬 ~ 10月 月上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 10月 月上旬 ~ 11月 月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	9月下旬	出荷期間	2018年 10月 月上旬 ~ 11月 月下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 4月 月上旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 4月 8日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 4月 月上旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 4月 8日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 4月 月上旬	油粕	10 kg	〃	2018年 4月 8日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 4月 月上旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 4月 8日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 月中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 26日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 月中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 21日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。

平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 5

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県上益城郡	住所	熊本県上益城郡惣領1958	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	木山①	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	紅はるか			定植日	2018年 5月 17日	特別栽培
栽培面積	40 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 10月 上旬 11月 上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 5月 上旬 ~ 11月 上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 12月 上旬 ~ 1月 下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	10月下旬	出荷期間	2018年 12月 上旬 ~ 1月 下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 5月 上旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 5月 13日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 5月 上旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 5月 13日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 5月 上旬	油粕	10 kg	〃	2018年 5月 13日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 5月 上旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 5月 13日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 25日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 20日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	3 回
				当作肥料計画	5 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。

平成 30 年度 栽培管理表

管理番号 6

記入日 2018年 8月 27日

生産者	坂野新一	栽培責任者	後藤寿一	確認責任者	榊幸里 生産管理部
住所	熊本県上益城郡	住所	熊本県上益城郡惣領1958	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1
連絡先	096-000-0000	連絡先	096-289-0888	連絡先	0964-53-0606

作物名	さつま芋	圃場番号	木山②	播種日	2018年 2月 20日	栽培区分
品種名	高系14号			定植日	2018年 5月 15日	特別栽培
栽培面積	50 a	圃場住所	熊本県上益城郡	収穫予定日	2018年 10月 上旬 11月 上旬	収穫予定数量/10a
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年 5月 上旬 ~ 11月 上旬	2000kg
種・苗の入手先	自家	前作作物名	さつまいも	出荷予定日	2018年 12月 上旬 ~ 2月 下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	無	前作終了日	10月下旬	出荷期間	2018年 12月 上旬 ~ 2月 下旬	1800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	メーカー or 仕入先	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2018年 2月 下旬	発酵鶏糞	150 kg	株平野養豚場	2018年 2月 20日	発酵鶏糞	150 kg	
2018年 5月 上旬	ニュー甘藷配合	20 kg	JA上益城	2018年 5月 15日	ニュー甘藷配合	20 kg	化成肥料 8- 10- 20
2018年 5月 上旬	甘藷専用820	10 kg	〃	2018年 5月 15日	甘藷専用820	10 kg	化成肥料 8- 12- 20
2018年 5月 上旬	油粕	10 kg	〃	2018年 5月 15日	油粕	10 kg	
	以後、施肥計画無し				以後、施肥実績無し		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2018年 5月 上旬	殺虫	ダースバン粒剤	6 kg	2018年 5月 15日	ダースバン粒剤	6 kg	
2018年 7月 中旬	除草	ナブ乳剤	200ml/100L	2018年 7月 25日	ナブ乳剤	200ml/100L	
2018年 8月 中旬	殺虫	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	2018年 8月 20日	トレボン乳剤	1000倍 100 ㍓	
		以後、防除計画無し			以後、防除実績無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	5 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	2.4 kg/10a	当作肥料計画	5 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	14 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	3 回	当作農薬計画	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴(アピールポイント等)
	ホクホク感のあるさつま芋で、特に貯蔵してデンプン質が糖化してからは甘みが増します。